

環境省 平成 28 年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金

地域における地球温暖化防止活動促進事業

「函館市地球温暖化防止行動に関する市民アンケート調査」

調査結果

平成 29 年 2 月

公益財団法人北海道環境財団
北海道地球温暖化防止活動推進センター

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 調査結果	2
3-1. 回答者の属性	2
3-2. 市民ノーマイカーデー	5
3-3. COOL CHOICE	9
5. 調査票	16

1. 調査目的

平成 28 年度地域における地球温暖化防止活動促進事業において、当センターと函館市が連携し、函館市民に向けて、函館市が実施する温暖化防止の取り組み「市民ノーマイカーデー」及び国民運動「COOL CHOICE (クールチョイス)」に関するアンケート調査を実施した。

本調査は、上記の取り組みの認知度や、市民の温暖化防止に関する意識や行動を把握することで、函館市における温暖化防止施策の検討を進める上での基礎的な知見を得ることを目的としている。同時に、当センターの役割として、函館市と連携の下、地域における温暖化防止施策の検討支援を進めるとともに、地域ならではの実情や課題の把握を図り、より効果的な温暖化防止への取り組み促進を狙う。

2. 調査概要

(1) 調査主体

公益財団法人北海道環境財団 北海道地球温暖化防止活動推進センター、函館市

(2) 調査期間

平成 28 年 11 月～12 月

(3) 調査対象

函館市民 1,000 世帯（住民基本台帳より 18 歳以上無作為抽出）

(4) 調査方法

調査方法は郵送方式とし、調査対象世帯の選定は函館市が実施した。以下、手順を示す。

協力の下に設計した調査票と返送用封筒を当センターにて封緘（切手添付）し、函館市へ提供した。函館市は調査対象先の個人情報に記載した後、発送した。調査票の返送先は当センターとし、調査票の収受、得られた結果の取りまとめを実施した。

尚、本調査において当センターによる個人情報の取扱いは発生していない。

(5) 回答数（回答率）

330 件（33.0%）

3. 調査結果

本調査により得られた結果は、3-1. 回答者の属性、 3-2. 市民ノーマイカーデー、 3-3. COOL CHOICE に分類し、整理した。以下、それぞれの結果概要および各設問への回答を示す。

3-1. 回答者の属性

(1) 概要

年代構成は、70代以上が約3割と最も多い結果であり、以下若年層ほど減少している（図1-1）。

世帯人数は、2人世帯が約4割と最も多い結果であり、次いで3人(24.8%)、1人(16.7%)と続き、以下世帯人数が多くなるにつれて減少している（図1-2）。

また、住居形態は、戸建住宅が約7割と最も多く（図1-3）、職業は、無職が約3割と最も多い結果であった（図1-4）。

男女比については、男性が約4割、女性が約6割という結果であった（図1-5）。

(2) 回答

問1. 回答者の属性について

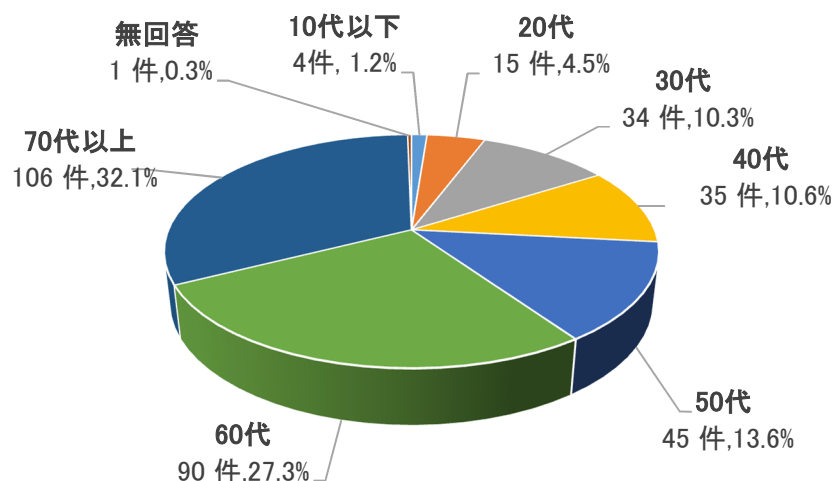


図1-1. 回答者の年代構成 (n=330)

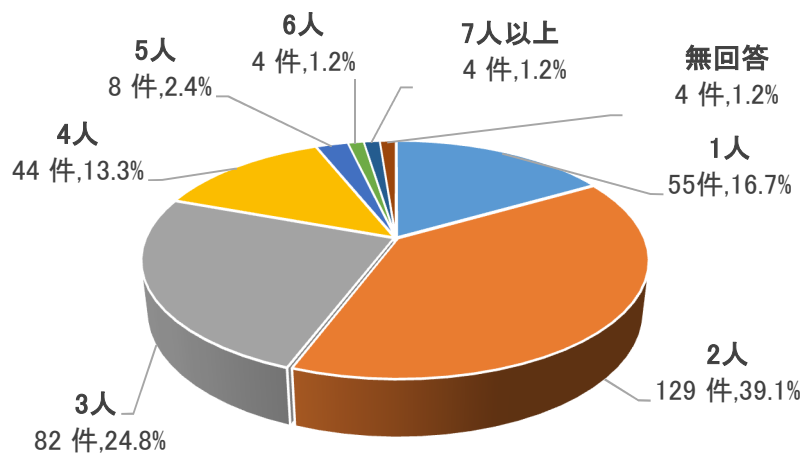


図 1-2. 回答者の世帯人数 (n=330)

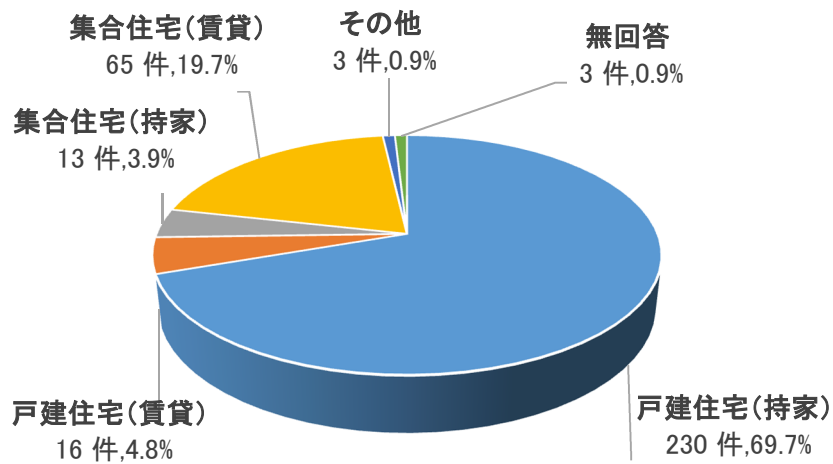


図 1-3. 回答者の住居形態 (n=330)

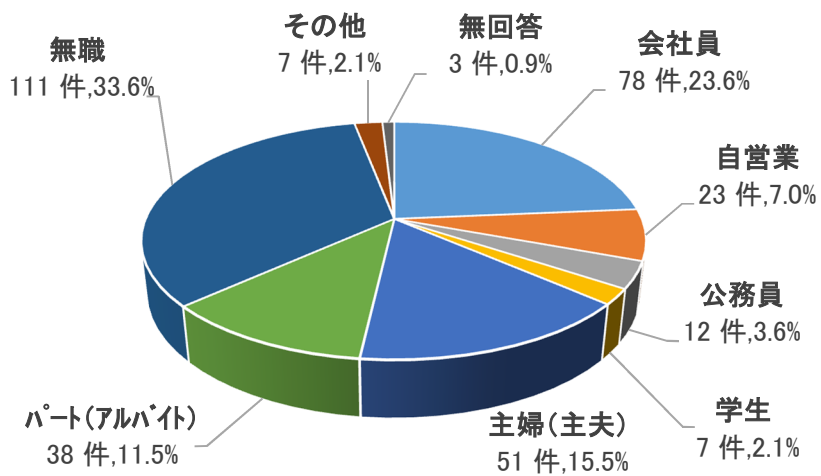


図 1-4. 回答者の職業構成 (n=330)

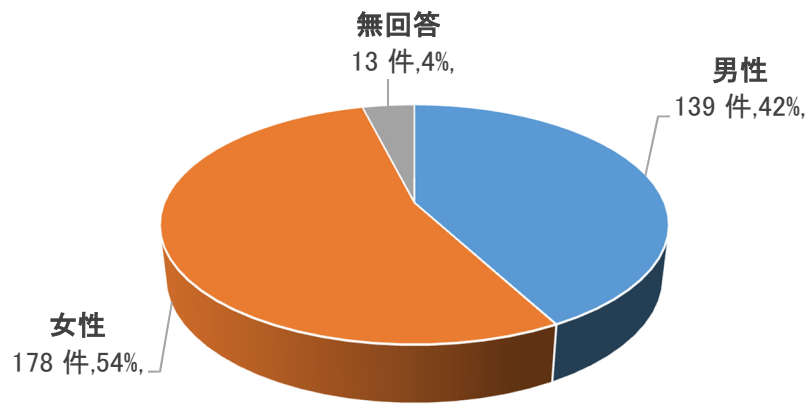


図 1-5 回答者の性別構成 (n=330)

3-2. 市民ノーマイカーデー

(1) 概要

ノーマイカーデーの認知度は、42.7%という結果であった（図 2）。

ノーマイカーデーの取り組みに関する意識については、①「マイカーの利用を減らそうと考えるきっかけとなるか」、②「環境意識の向上に役立つか」、③「健康増進や運動不足解消に役立つか」それぞれの設問で、いずれも「そう思う」という回答が最も多い結果であった。次いで、設問①では「あまり思わない」、設問②、③では「どちらともいえない」という回答が続いた（図 3-1）。また、④「ノーマイカーデーの取り組みを拡大・継続するためには何が重要か（公共交通の利便性向上除く）」については、「各種メディアによる広報活動の強化」が 36.7%と最も多い結果であり、次いで「健康増進や燃料代節約等の効果周知」（22.1%）と続き、取り組みとその効果の広域周知を重要とする傾向がみられた（図 3-2）。

ノーマイカーを実践するための公共交通サービスの改善点については、「運行本数が多くなる」が 46.1%と最も多い結果であり、次いで「最寄りのバス停・駅が近くなる」（24.5%）が続いた（図 4）。

市営電車・函館バスの交通系 IC カード導入予定についての認知度は 22.7%（図 5）、平成 28 年度から函館バスがパソコンやスマートフォンの乗り換え案内に対応していることについての認知度は 26.4%であった（図 6）。

安全にマイカーの運転を続けられる年齢については、「75 歳まで」が 30.9%と最も多い結果であり、次いで「70 歳まで」（26.4%）、「80 歳まで」（15.5%）、「65 歳まで」（13.3%）と続いた（図 7）。

(2) 回答

問 2. 「ノーマイカーデー」がどのような取り組みであるか知っていますか？

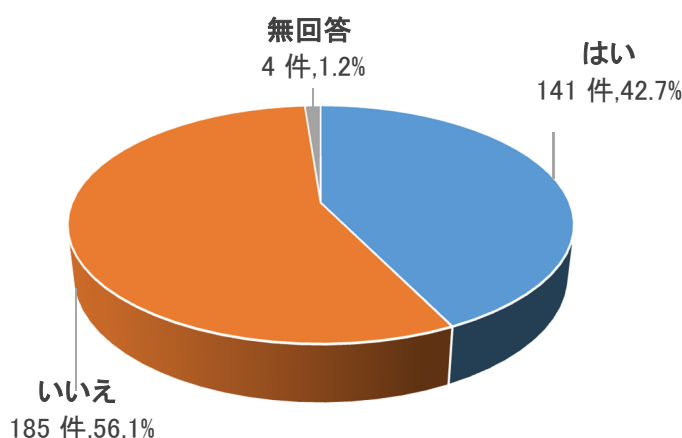


図 2. ノーマイカーデーの認知度 (n=330)

問 3. 「ノーマイカーデー」の取り組みに関する意識について

- ① ノーマイカーデーは、マイカー利用を減らそうと考えるきっかけになると思いますか？
- ② ノーマイカーデーは、環境意識の向上に役立つと思いますか？
- ③ ノーマイカーデーは、健康増進や運動不足解消に役立つと思いますか？

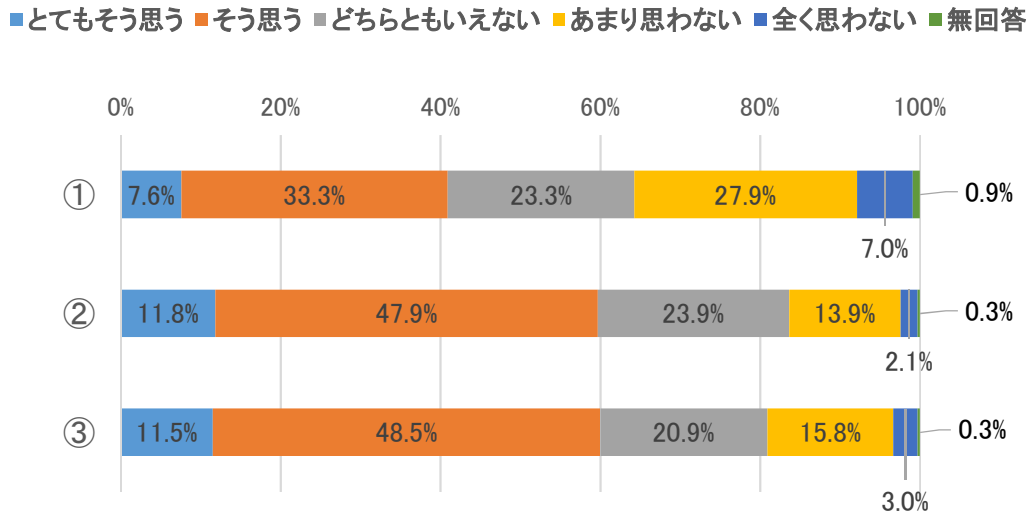


図 3-1 ノーマイカーデーの取り組みに関する意識 (n=330)

- ④ 公共交通の利便性向上以外で、ノーマイカーデーの取り組みを拡大・継続するためには何が最も重要と考えますか？

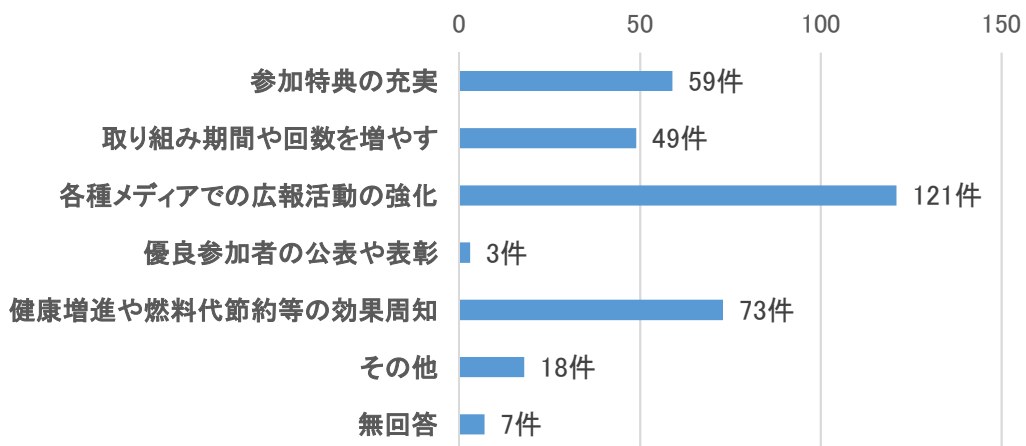


図 3-2. ノーマイカーデーを拡大・継続するために重要だと考えられる点 (n=330)

問 4. 公共交通サービスのどのような点が改善されれば、ノーマイカーでの移動が増えると思いますか？

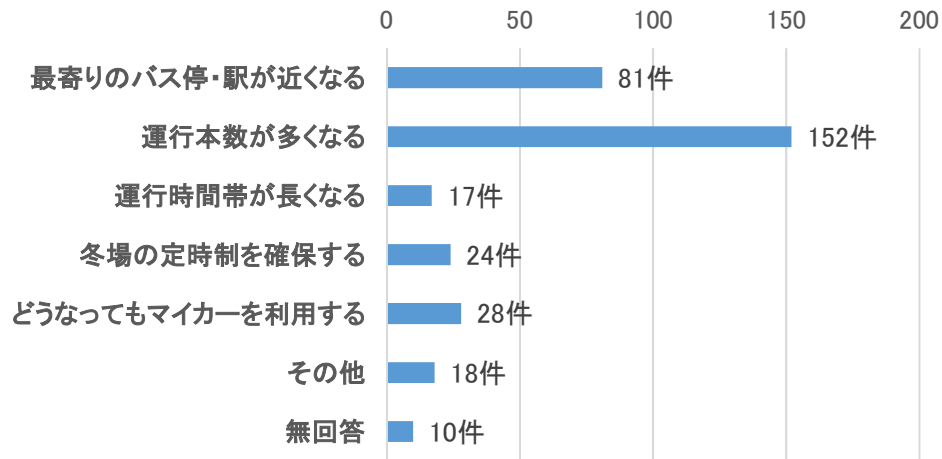


図 4. ノーマイカー推進のための公共交通サービスの改善点 (n=330)

問 5. 市営電車や函館バスが、交通系 IC カードシステムを導入する予定であることを知っていますか？

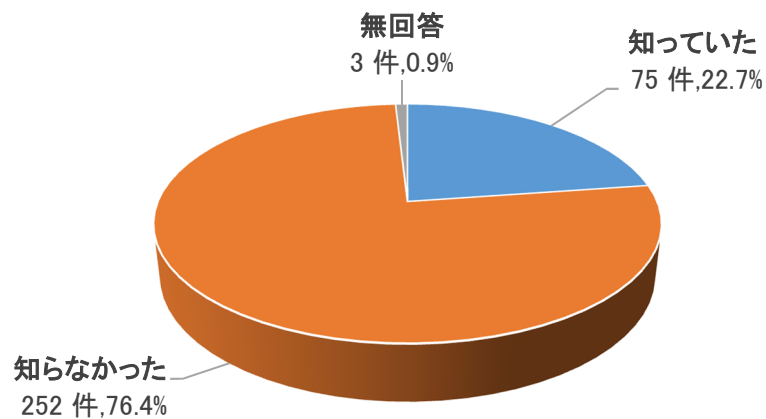


図 5. 市営電車及び函館バスの交通系 IC カードシステム導入予定の認知度 (n=330)

問 6. 平成 28 年 4 月から、函館バスがパソコンやスマートフォンの乗り換え案内に対応していることを知っていますか？

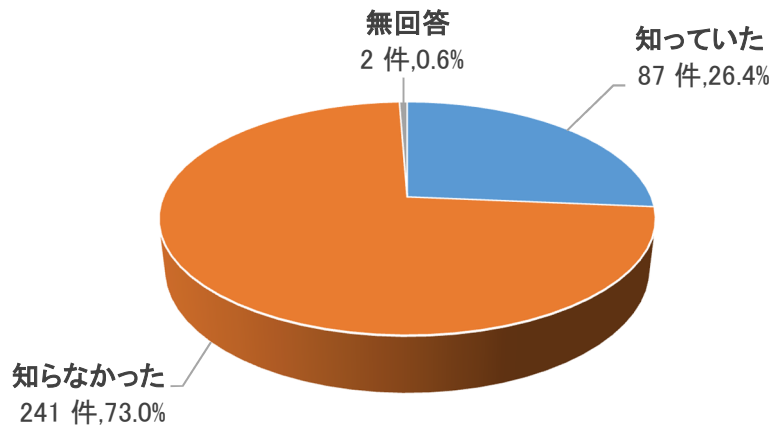


図 6. 函館バスのスマートフォン等での乗り換え案内対応についての認知度 (n=330)

問 7. あなたは何歳まで安全にマイカーの運転を続けられると考えていますか？

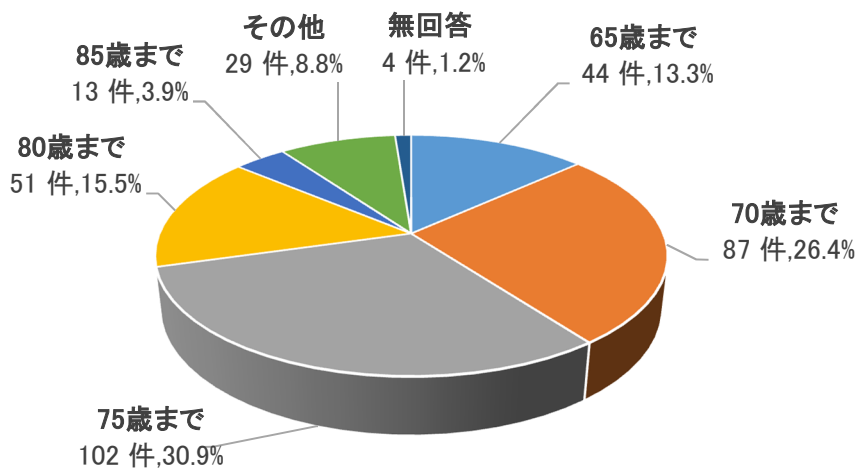


図 7. 安全にマイカーの運転を続けられる年齢 (n=330)

3-3. COOL CHOICE

(1) 概要

日本が世界に約束している 2030 年度までに 26%（2013 年度比）の温室効果ガスを削減するという国際的約束（以降、中期目標）の認知度は 47.9%（図 8-1）、その実現のための取り組みである国民運動 COOL CHOICE の認知度は 20.3%であった（図 8-2）。そのうち COOL CHOICE を知っていた要因としては、「テレビ・雑誌・メディア関連など」が 73.1%を占め、その他の項目は 10.0%以下という結果であった（図 8-3）。また、COOL CHOICE ロゴの認知度は 8.5%であった（図 8-4）。

普段の生活における省エネ行動への意識・意向について、①「購入時に省エネ性能・ランニングコストを意識したい」、②「近い範囲であれば自転車や公共交通機関を利用したい」、③「燃料・電気代の節約を心掛けたい」、それぞれの設問で「そう思う」という回答が 80.0%を超える結果となった（図 9）。しかしながら、前問のような省エネ行動の意識・意向を、実際に行動に移しているか（COOL CHOICE しているか）については、「している」が 64.2%と（図 10）、前問の意識・意向に比べて減少傾向にあった（図 10-1）。行動に移していない要因としては、「何をしたいかわからない」が 41.9%を占め、次いで「効果がわからない」（27.6%）、「金銭的な負担から（12.4%）」が続いた（図 10-2）。

函館市での COOL CHOICE 実践の課題については、「具体的な方法が分からない」が最も高く、次いで「家族の協力」、「効果がわからない・期待できない」、「特に問題はない」、「ライフスタイルを変えることができない」という回答が続いた（図 11）。

COOL CHOICE の賛同については、「している」が 22.1%、「していない」が 74.8%であった（図 12-1）。賛同している要因としては、「地球温暖化防止への貢献」が 42.5%を占め、次いで「自分にもできそう」（31.5%）、「以前から実践していた」（11.0%）が続いた（図 12-2）。「していない」要因としては、「募集を知らなかった」が 68.0%を占め、その他の回答は 10%以下であった（図 12-3）。

(2) 回答

問 8. COOL CHOICE について

- ① 現在、日本は 2030 年度までに、26% (2013 年度比) の温室効果ガスを削減すること (中期目標) を世界に約束していますが、そのことを知っていましたか?

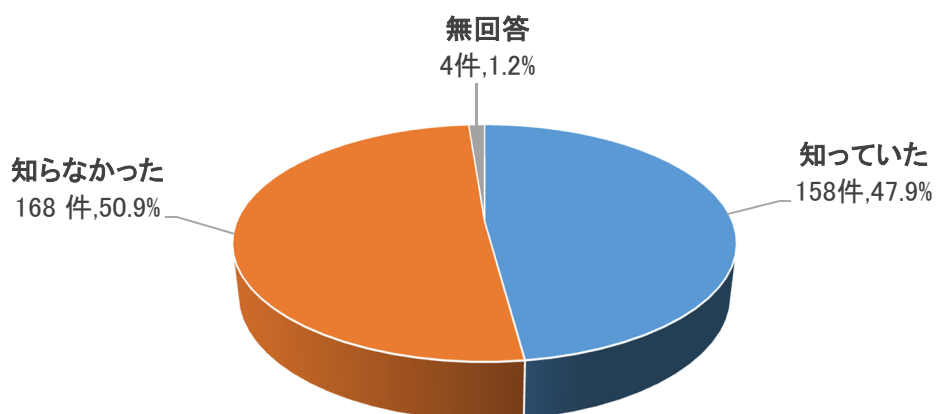


図 8-1. 中期目標の認知度 (n=330)

- ② COOL CHOICE を知っていましたか?

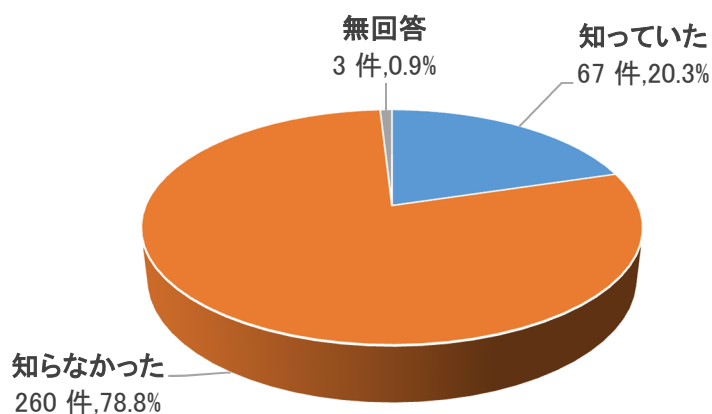


図 8-2. COOL CHOICE の認知度 (n=330)

※ ②で「知っていた」と回答した方にお伺いします。何で知りましたか？

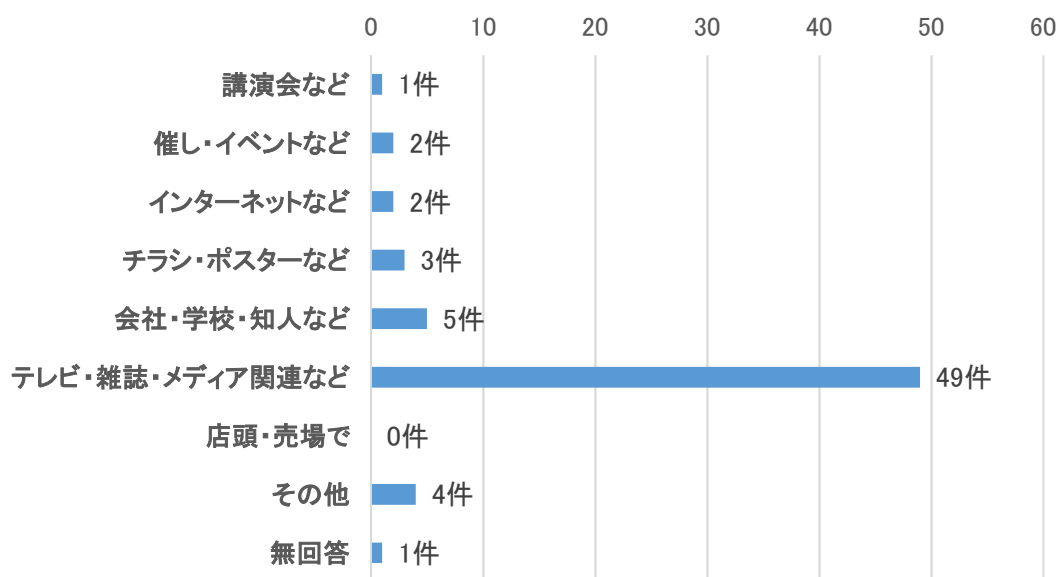


図 8-3. COOL CHOICE を知った要因 (n=67)

③ COOL CHOICE に賛同する団体・企業は右解答欄のロゴマークを掲げています。見たことがありますか？

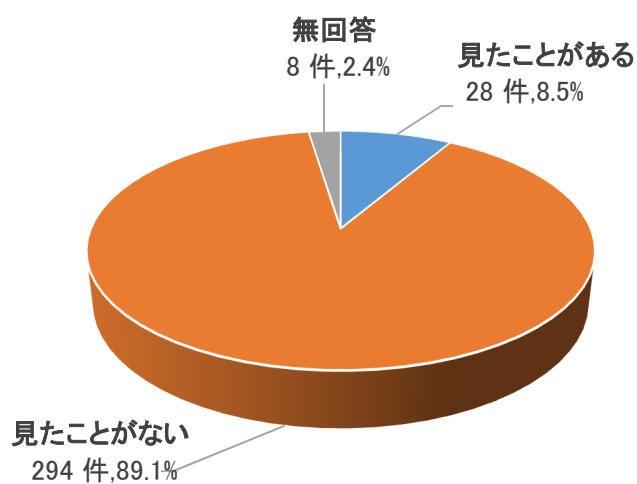


図 8-4. COOL CHOICE ロゴマークの認知度 (n=330)

問 9. 普段の生活における意識・意向についてお伺いします。(実際に行動しているか、していないかは問いません)

- ① 商品を購入する際は価格だけではなく、省エネ性能・ランニングコストなどを意識したい。
- ② 健康を意識し、近い範囲ではできるだけ自転車や公共交通機関を利用するようにしたい。
- ③ 冷暖房は極力控えめに、脱いだり一枚羽織ることで、燃料・電気代の節約を心掛けたい。

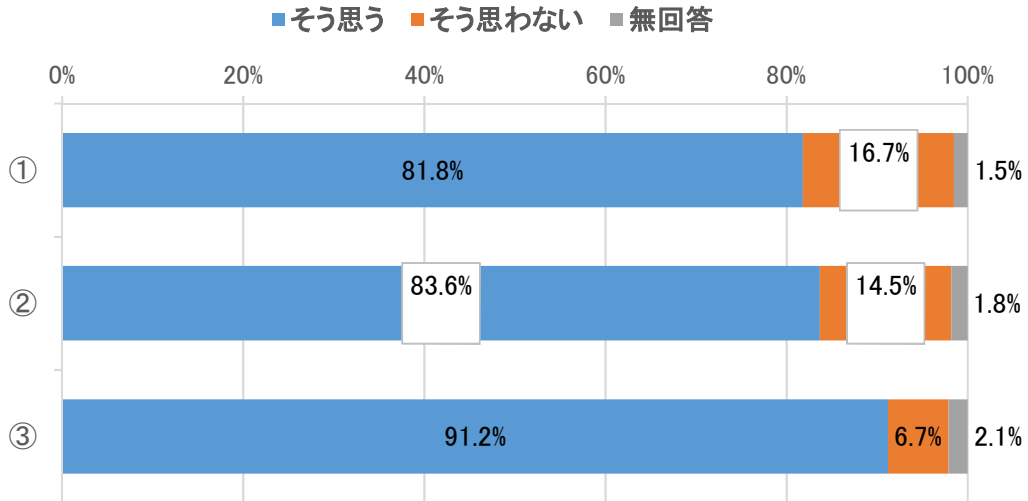


図 9. 省エネ行動に関する意識・意向 (n=330)

問 10. 問 9 のような地球温暖化防止に繋がる意識・意向を、実際の行動にうつしたものが COOL CHOICE です。生活の中で「COOL CHOICE (賢い選択)」をしていますか？

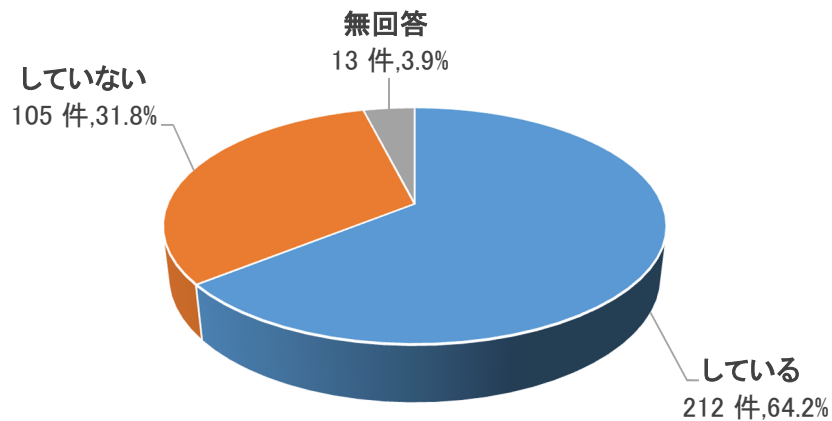


図 10. 省エネ行動 (COOL CHOICE) の実践 (n=330)

※ 問 10 で「していない」と回答した方にお伺いします。その要因は何ですか？

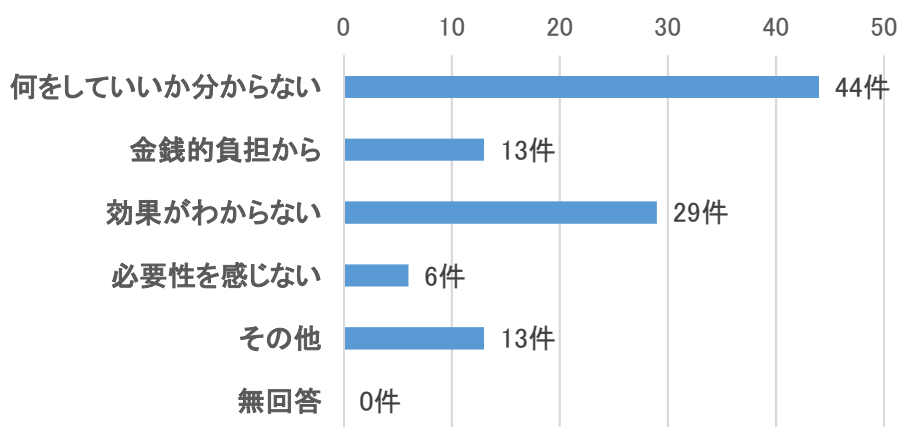


図 10. 省エネ行動を実践していない要因 (n=105)

問 11. 函館市に住む「あなた」が「COOL CHOICE」を実践する上で、何が課題になると思いますか？ (2つ選択)

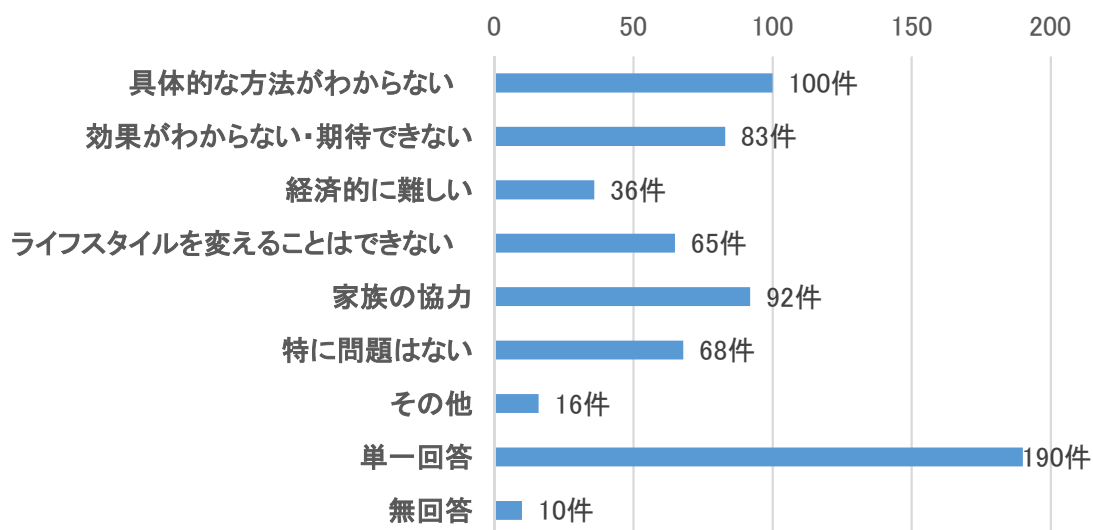


図 11. 函館市での COOL CHOICE 実践の課題 (複数回答) (n=330)

問 12. 環境省のホームページ等で、「COOL CHOICE」への賛同を募っています。賛同していますか？

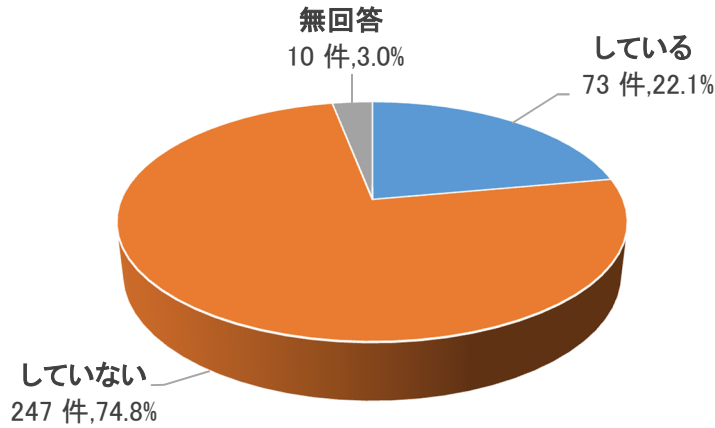


図 12-1. COOL CHOICE の賛同 (n=330)

※ 問 12 で「している」と回答した方にお伺いします。その要因は何ですか？

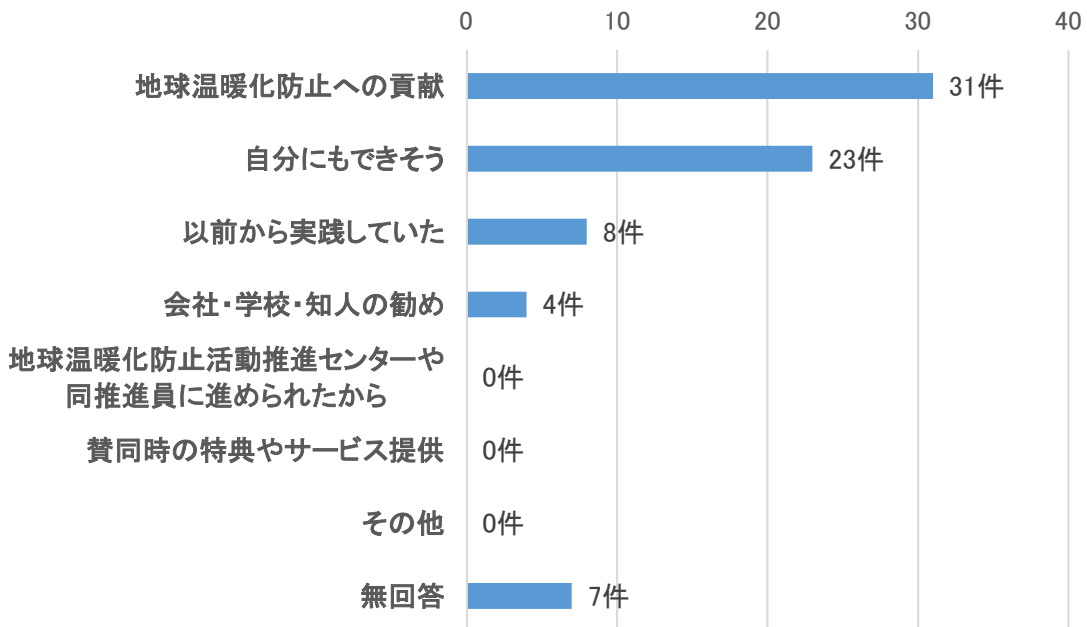


図 12-1. COOL CHOICE に賛同している要因 (n=105)

※ 問 12 で「していない」と回答した方にお伺いします。その要因は何ですか？

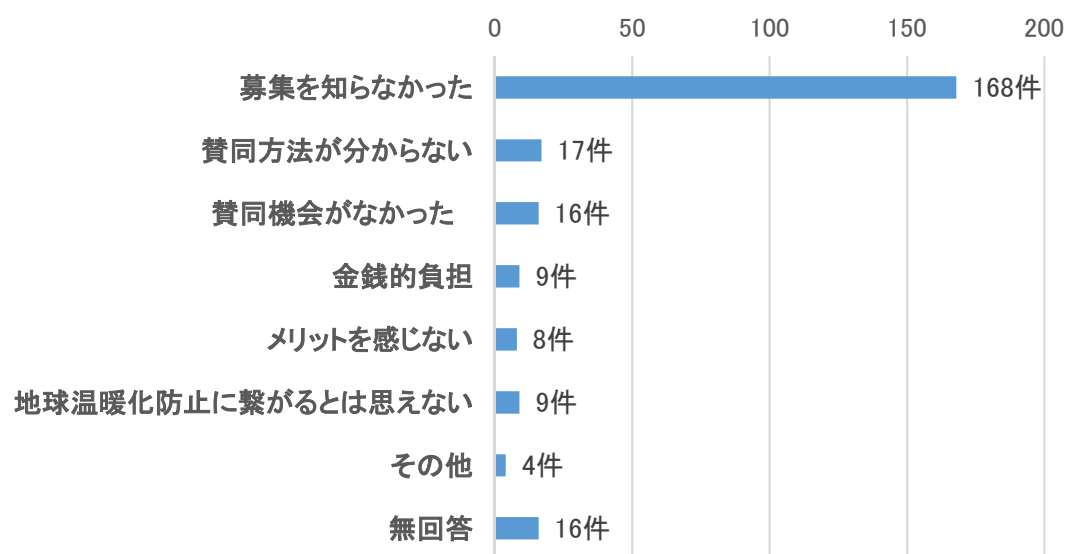


図 10. 省エネ行動を実践していない要因 (n=247)

4. 調査票

「函館市地球温暖化防止行動に関する市民アンケート調査」

ご協力をお願い

函館市では、平成23年3月に地域における地球温暖化対策を推進するため「函館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しました。

地球温暖化の進行は、生態系や食料、人の健康、社会基盤など、さまざまな分野に影響をもたらすと予測されていますが、函館市では、市民・市民団体、事業者や高等教育機関の皆様とともに「函館市地球温暖化対策地域推進協議会」を設置し、平成24年度から毎年度「市民ノーマイカーデー」を実施するなど、日常生活に関する温室効果ガス削減のための具体的な対策に連携して取り組んでまいりました。

また、現在国では、2030年度に向けて、温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減する目標達成のための国民運動として、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策のために、あらゆる「賢い選択」をしていこうという「COOL CHOICE（クールチョイス）」を推進しています。

そこで、「市民ノーマイカーデー」や「クールチョイス」の認知度や皆様の地球温暖化防止に向けた具体的な取り組みなどをご回答いただき、函館市の温暖化防止の取り組みを進める上で参考とさせていただきたいと考えておりますので、ご多忙の折とは存じますが、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご記入いただきましたアンケート用紙は、平成28年12月2日（金）までに、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送くださいますようお願いいたします。

- ※ 皆様からいただいたデータは、本調査以外の目的で使用することはありません。
- ※ 無記名アンケートですので、氏名の記入の必要はありません。
- ※ このアンケートは、函館市が18歳以上の市民から無作為に抽出された1,000人の方を対象に実施しておりますが、回収および集計作業につきましては、環境省事業として調査を協働する公益財団法人北海道環境財団（札幌市）が実施します。公益財団法人北海道環境財団とは、北海道知事から指定を受け「北海道地球温暖化防止活動推進センター」として活動している組織です。
- ※ 調査結果は個人が特定されない形で取りまとめ、函館市および公益財団法人北海道環境財団が公表します。
- ※ アンケートの内容について、函館市もしくは公益財団法人北海道環境財団から、皆様に直接お問い合わせをすることは一切ありません。

お問い合わせ先

函館市環境部環境総務課温暖化対策担当（池田、佐藤）
〒040-0022 函館市日乃出町26番2号
電話 0138-51-0758 FAX 0138-56-4482
e-mail kankyoh-kikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

「函館市地球温暖化防止行動に関する市民アンケート調査」

問1. ご回答頂く「あなた」についてお伺いします。それぞれ該当するもの1つに「○」をつけてください。	
① 年代	10代以下・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
② 世帯人数	1人・2人・3人・4人・5人・6人・7人以上
③ 住居形態	戸建住宅（持家）・戸建住宅（賃貸）・集合住宅（持家）・集合住宅（賃貸） ・その他（ ）
④ 職業	会社員・自営業・公務員・学生・主婦（主夫）・パート（アルバイト）・無職 ・その他（ ）
⑤ 性別	男性・女性

1)「市民ノーマイカーデー」に関するアンケート

函館市では、平成27年11月に将来にわたって持続可能な公共交通網を構築することを目的とした函館市地域公共交通網形成計画を策定し、実施施策として「バス路線網の再編」や「ノーマイカーデーの推進」等が掲げられました。

「ノーマイカーデー」とは、マイカー利用を控えて、環境にやさしい公共交通機関や自転車などでの移動を実践する取り組みのことで、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量が削減できるほか、健康増進効果も期待され、本市では、平成24年度から毎年度「市民ノーマイカーデー」を実施しています。


問2. 「ノーマイカーデー」がどのような取り組みであるか知っていましたか？「○」をつけてください。	
1. 知っていた	2. 知らなかった
問3. 「ノーマイカーデー」についてお伺いします。それぞれ該当するもの1つに「○」をつけてください。	
① ノーマイカーデーの取り組みは、マイカーの利用を減らそうと考えるきっかけになると思いますか？	
1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. あまり思わない 5. 全く思わない	
② ノーマイカーデーの取り組みは、環境意識の向上に役立つと思いますか？	
1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. あまり思わない 5. 全く思わない	
③ ノーマイカーデーの取り組みは、健康増進や運動不足解消に役立つと思いますか？	
1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. あまり思わない 5. 全く思わない	
④ 公共交通の利便性向上以外で、ノーマイカーデーの取り組みを拡大・継続するためには、何が最も重要と考えますか？最も優先度の高いもの1つに「○」をつけてください。	
1. 参加特典の充実 2. 取り組み期間や回数を増やす 3. 各種メディアでの広報活動の強化 4. 優良参加者の公表や表彰 5. 健康増進や燃料代節約等の効果周知 6. その他（ ）	

<p>問4. 公共交通サービスのこういった点が改善されれば、ノーマイカーでの移動が増えると思いますか？最も優先度の高いもの1つに「O」をつけてください。</p>	
<p>1. 最寄りのバス停・駅が近くなる 2. 運行本数が多くなる 3. 運行時間帯が長くなる 4. 冬場の定時制を確保する 5. どうなってもマイカーを利用する 6. その他 ()</p>	
<p>問5 市営電車や函館バスが、交通系ICカードシステムを導入する予定であることを知っていますか？「O」をつけてください。</p>	
<p>1. 知っていた 2. 知らなかった</p>	
<p>問6. 平成28年4月から、函館バスがパソコンやスマートフォンの乗り換え案内に対応していることを知っていますか？「O」をつけてください。</p>	
<p>1. 知っていた 2. 知らなかった</p>	
<p>問7. あなたは何歳まで安全にマイカーの運転を続けられると考えていますか？該当するもの1つに「O」をつけてください。</p>	
<p>1. 65歳まで 2. 70歳まで 3. 75歳まで 4. 80歳まで 5. 85歳まで 6. その他 ()</p>	

2) 「COOL CHOICE (クールチョイス)」に関するアンケート

地球温暖化問題が世界的な課題となる中、政府はその取り組みの一つとして、2015年7月より温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「クール（賢い）チョイス（選択）」を立ち上げています。函館市は、政府の動きと連動してこの国民運動に取り組むため、本アンケート調査を通して、より効果的な「クールチョイス」実施を目指しています。

「クールチョイス」という言葉には、何かを我慢するのではなく、地球温暖化を防止し、未来に貢献できる賢い選択をしようという意味が込められています。

<p>問8. 「クールチョイス」についてお伺いします。それぞれ該当するものに「O」をつけてください。</p>	
<p>① 現在、日本は2030年度までに、26%（2013年度比）の温室効果ガスを削減することを世界に約束していますが、そのことを知っていましたか？</p>	
<p>1. 知っていた 2. 知らなかった</p>	
<p>② クールチョイスを知っていましたか？</p>	
<p>1. 知っていた 2. 知らなかった</p>	
<p>※ ②で「知っていた」と回答した方にお伺いします。何で知りましたか？（該当するもの全てにO）</p>	
<p>1. 講演会など 2. 催し・イベントなど 3. インターネットなど 4. チラシ・ポスターなど 5. 会社・学校・知人など 6. テレビ・雑誌・メディア関連など 7. 店頭・売場で、 8. その他 ()</p>	
<p>③ クールチョイスに賛同する団体・企業は右解答欄のロゴマークを掲げています。見たことがありますか？</p>	 <p>1. 見たことがある 2. 見たことがない</p>

<p>問9. 普段の生活における意識・意向についてお伺いします。(実際に行動しているか、していないかは問いません) <u>それぞれ該当するものに「○」をつけてください。</u></p>	
① 商品を購入する際は価格だけではなく、省エネ性能・ランニングコストなどを意識したい。	1. そう思う 2. そう思わない
② 健康を意識して、近い範囲であればできるだけ自転車や公共交通機関を利用するようにしたい。	1. そう思う 2. そう思わない
③ 冷暖房は極力控えめに、脱いだり一枚羽織ること、燃料・電気代の節約を心掛けたい。	1. そう思う 2. そう思わない
<p>問10. 問9のような、地球温暖化防止に繋がる意識・意向を、実際の行動にうつしたものがクールチョイスです。 生活の中で「クールチョイス(賢い選択)」をしていますか? 「○」をつけてください。</p>	
1. している (問9の内容に該当するものではありません)	2. していない
<p>※ 問10で「していない」と回答した方にお伺いします。最も強い理由1つに「○」をつけてください。</p>	
<p>1. 何をしているかわからない 2. 金銭的負担から 3. 効果がわからない 4. 必要性を感じない 5. その他 ()</p>	
<p>問11. 函館市に住む「あなた」が「クールチョイス」を実践する上で、何が課題になるとお思いますか? 優先度の高いもの2つに「○」をつけてください。</p>	
<p>1. 具体的な方法がわからない 2. 効果がわからない・期待できない 3. 経済的に難しい 4. ライフスタイルを変えることはできない 5. 家族の協力 6. 特に問題はない 7. その他 ()</p>	
<p>問12. 環境省のホームページ等で、「クールチョイス」への賛同を募っています。賛同していますか? 「○」をつけてください。</p>	
1. している	2. していない
<p>※ 問12で「している」と回答した方にお伺いします。最も強い理由1つに「○」をつけてください。</p>	
<p>1. 地球温暖化防止への貢献 2. 自分にもできそう 3. 以前から実践していた 4. 会社・学校・知人の勧め 5. 地球温暖化防止活動推進センターや同推進員に勧められたから 6. 賛同時の特典やサービス提供 7. その他 ()</p>	
<p>※ 問12で「していない」と回答した方にお伺いします。最も強い理由1つに「○」をつけてください。</p>	
<p>1. 募集を知らなかった 2. 賛同方法がわからない 3. 賛同機会がなかった 4. 金銭的負担 5. メリットを感じない 6. 地球温暖化防止に繋がるとは思えない 7. その他 ()</p>	
<p style="text-align: center;">[函館市の地球温暖化対策に関するご意見・ご要望がございましたらご記入下さい]</p>	

記入後は、同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送ください。ご協力ありがとうございました。